

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波であっても、行動制限が解除されているため、宴会や会食は、少人数ではあるものの、予約や当日の来客が出始めている。ただし、大人数の会食や宴会ではキャンセルが出ており、懸念材料となっている。
	◎	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・7月第4週の初めくらいまでの結果だが、一般宴会の需要が新型コロナウイルス感染症の発生前と同じくらいになっている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するなかで、徹底した感染症対策を行いながら、新規施設の開業やイベント等の集客施策を実施したため、3か月前と比べて、来客数が大幅に伸びている。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀の相談が多い。また、孤独死も多く、市の福祉課からの依頼も増えている。
	○	一般小売店 [家電] (経営者)	販売量の動き	・猛暑が続き、夏物家電、エアコン、冷蔵庫等の動きが非常に良い。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・物価は上がっているものの、来客数や買上点数は減少してはいない。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比較して、来客数は前年比100%以上と好調である。
	○	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・半導体不足の影響による新車供給遅延の状況は変わらないが、徐々に生産と納車台数が増えてきている。新型車イベントの効果もあり、長納期にもかかわらず、新車受注は伸びている。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・5～6月はコロナ禍になってから、一番良かった。このまま元のようになってくれば良いと思っていたが、ここに来て再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、人出はかなり減っている。ただし、以前の感染爆発のときほどは減っていない。冷静に対応している人が増えたように思う。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、いまだに団体客やインバウンドはないものの、家族や夫婦など個人客の宿泊により、例年の9割まで売上が戻ってきている。現在、新型コロナウイルスの感染拡大の第7波で新規感染者数は急増しているが、客の動きには活気がある。キャンセルもちらほら発生しているが、それを上回るペースで予約が動いているので、全体としては予約は増える方向である。
	○	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・前月に引き続き、フリー客や予約は好調に推移して来客数は増加傾向にあり、3か月前と比べて良くなってきている。しかし、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や第7波、過去最高の感染者数等という報道と共に、月の後半は利用者数が減少傾向に変わっている。前半までは好調に推移していたので、月全体で見れば、まだ良い方である。
	○	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少と増加が繰り返されるなか、3か月前と比べ客の動きは活発化してきている。増減の繰り返しで、感染拡大時には一時的に客の動向が鈍くなり、減少してきたときは活発になっている。旅行需要そのものや旅行願望の意識が高まっている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・ツアー客が増えてきており、個人や一般客も堅調である。新型コロナウイルス感染症の発生前には及ばないが、来客数は着実に増加している。
○	設計事務所（職員）	来客数の動き	・物件の依頼数は増えてきている。	
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・祭りの人出は久しぶりの開催だったこともあり、まずは良かったが、例年同様、売上には結び付いていない。祭りで降は新型コロナウイルスの感染再拡大もあり、街の人出は全くない。	

□	商店街（代表者）	販売量の動き	・今年新型コロナウイルス感染症の影響で、学生の登山行事もなかったし、クラブ活動も思ったほど活動していない。ようやく良くなると思ったら、また新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増えて、先行きがどうなるかわからないときに、学校も夏休みに入ってしまったので、当店の商売も一休みというところである。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・7月に入り観光客も徐々に増えて、今年の夏休みに期待を持ち始めていたが、海の日を境にムードは一変してしまった。新型コロナウイルスの新規感染者数の急拡大で、第6波のときと似た状態になっている。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑日が続く、季節商材の動きは良いものの、他の商材の動きは今一つである。相次ぐ商材価格の値上げで、売る側も戸惑いはあるが、家電製品に限っては買い急ぎはみられず、必要に応じて必要な物を購入するパターンが定着している。消費は慎重である。
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候はおおむね良好で、来客数は微増となっている。新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響で、買上点数も前年並みで、値上げも一定程度は受け入れられているようである。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・7月上旬は天候も良く暑い日が続く、売上の的にも良かったが、後半は降雨が多く非常に厳しい状態である。新型コロナウイルスの新規感染者数が非常に増え始めたことも加味して、やや厳しい状態である。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響もあり、変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症は終息に向かうどころか感染者が増えてきており、気温も暑くなり過ぎて、スーツ等の需要もない。
□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・季節商材の販売状況が不振となっている。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・上向きになりかけたが、新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響で停滞している。極端な下降ではないものの、大きな伸びは期待できそうもない。
□	スナック（経営者）	お客様の様子	・変わらないと回答したが、3か月前の悪いときと変わらないということである。また、客の様子や来客の動きをみても、現状の世界情勢のなかでは、本当に困っている。
□	タクシー運転手	販売量の動き	・数か月前からわずかではあるが、前年比105%や107%という状況が何か月か続いているので、段々良くなってはきている。しかし、ここ1週間ほどで、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、また若干下火になりつつあるという感じはしている。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・よくも悪くも変わらない。当県内でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきているものの、在宅勤務が増えているわけでもないで、特別な影響はなく、需要は変わらない。
□	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・戻り梅雨から一挙に猛暑が続く、シニアゴルファーの熱中症など体調管理に留意しているという会話が気になっている。また、原材料費の値上げにより、食事メニューは値上げを実施したところである。
□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・引き続き、ゴルフ場は来場客に恵まれている。新型コロナウイルスの感染拡大でイベントが中止になりゴルフに来たという客が複数いる。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大がひどい。当地は観光地なので大変な状況である。
▲	百貨店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響で、来店客がめっきり減少傾向にある。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は4%減、来客数は15%減となっている。7月になり、新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響で、イベントの中止も相次いでおり、6月までの3か月ほどは上向いていたので残念である。何とかこうした状況に慣れながら、売上を確保していきたい。当社は不動産業も営業しており、売買2件、賃貸住宅1件の契約を成約させている。店が暇なときに、もう少し不動産業の仕事もしたい。

	▲	コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価は上がっているものの、来客数は圧倒的に少なくなってきた。客単価も値上げ分で上がっているだけで、買上点数はそこまで増えていない。余り良い傾向ではないので、少し厳しい。
	▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は目標をクリアしているが、車両販売は、新車納期の遅れに伴う中古車価格の高騰により低迷している。7月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、あらゆるところに影響を及ぼしている。社会経済活動の再開という話はよく耳にするが、それにはしっかりとした環境整備が先だと思う。
	▲	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・新車の納車遅れや物価上昇等により、来客数が大幅に落ちている。カーエレクトロニクス関係の落ち込みが大きく、全体の客単価も前年割れの状況となってきた。
	▲	その他専門店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が東京で4万人を超え、当県でも過去最高を記録している状況なので、予断を許さない。これから、本物のウィズコロナの時代に入ったといってもよいだろうが、飲食店の話では、大きい予約はキャンセルが入っているが、3～4人の親しい人での飲食はするということである。新型コロナウイルスの感染拡大第6波の直前のような状況になるのではないかと。予断を許さない状況だと思うが、前回とは違った形になるのかもしれない。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・大勢での会合などを控える傾向にある。
	▲	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波によるキャンセルが増えている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・生活必需品の物価高騰により、買い回りで客が全く来ない。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・今月上旬から3連休までは、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、団体予約等も入り始めていた。それが月後半から、新規感染者数が爆発的に増え、予約がキャンセルになってしまっている。夏休みに入ったものの、にぎわいは余り感じられない。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月より若干受注は減少したが、おおむね計画の範囲内である。
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は順調に推移しているが、資材価格の値上がりや納期の不安定化で、景気回復はもう少し先になると思われる。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・止まっていた電子部品が一部で動き出し、生産量は増えている。ただし、動き出したのは一部だけなので、1か月先のことは分からない。
	□	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月前半の催事は集客、売上共に、前年を4割近く上回り、回復基調を感じていた。中旬以降、新型コロナウイルスオミクロン株の別系統の影響で、新規感染者数が急増したことから、催事はいずれも来場客の落ち込みが激しくなり、売上は後退した。卸、小売店舗へのルートセールスは低調だが、前半の余得があったお陰で、最終的な売上は前年同期並みである。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・取引先の状況等を勘案しても、景気回復状況は業種ごとにばらつきがある。観光業等では、夏休み等の人の往来により、3か月前と比較して、かなり良くなっている。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏休みには入ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響か、ワークショップ予約が低迷している。
	▲	金融業（調査担当）	取引先の様子	・非製造業では地元名物の祭礼等のイベント効果から景況感が改善したものの、製造業では原材料価格高騰による収益の押し下げから景況感が低下し、全体では弱さがみられる。
	▲	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・様々な物価が上昇し、取引先も売手、買手の両面で苦慮している。燃料価格に加えて消耗品単価がいずれのメーカーでも上がってきており、経営を圧迫しているという話が多い。当社も同様である。

	×	食料品製造業 (製造担当)	取引先の様子	・販売点数が1～2割弱、落ち込んでいる。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・採用側が数か月も合否を出さず、応募者側の動きが取れない状況は相変わらずである。
	□	求人情報製作会社 (総務担当)	求人数の動き	・当社は求人誌を発行しているため、求人数の動きが重要で、直接売上にも関係する。
	□	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・宿泊、飲食、サービス業や卸、小売業では前年同月を上回る求人が出てきているものの、先行き不安からか、パート求人の割合が多い。求職者の希望職種や雇用形態とのミスマッチも大きい。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・6月の有効求人数は、前年同月比では増加はしているが、3か月前とほぼ同水準であることから、変わらないと判断している。
	□	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・円安や新型コロナウイルスの感染拡大が影響して、将来不安から慎重な企業が多い。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—